

関西国際空港平成16年度予算に関する概算要求について

1. 建設事業

(単位:億円)

事業区分	事業内容	事業費
2期事業	施設整備事業(上物) ・ 空港諸施設の実施設及び南側連絡誘導路整備 (1期島側)に伴う試験工事を実施	52 (25)
	用地造成事業(下物) ・ 埋立工事等を実施	900 (900)
	小 計	952 (925)
1期事業	既存施設の能力増強を実施	21 (17)
建設事業費合計		974 (941)

2. 経営基盤の確立

2 - 1

安定的な経営基盤を確立し、有利子債務の確実な償還を期するため、引き続き補給金を要求

(単位:億円)

補給金	90 (90)
-----	-----------

2 - 2

資金調達の円滑化を図るための信用補完措置として、引き続き政府保証を要求

(単位:億円)

政府保証債(10年)	265 (544)
政府保証債(5年未満)	294 (1,749)

3. 2期用地造成事業のスキーム見直しに伴う無利子資金の精算

既に予算化されている事業費の有利子資金調達分が、スキーム見直し後の計画額を超えており、その精算のため、無利子資金を要求

(単位:億円)

無利子資金の精算	87 (-)
----------	----------

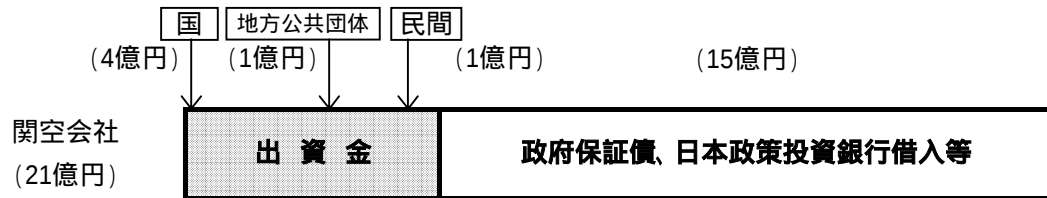
注1) ()内は、15年度当初予算を示す。

注2) 2期事業の用地造成は、「関西国際空港用地造成株式会社」が行う事業。

注3) 端数処理の関係で合計が一致しない。

平成16年度予算に係る資金フロー

1期事業に係る資金フロー

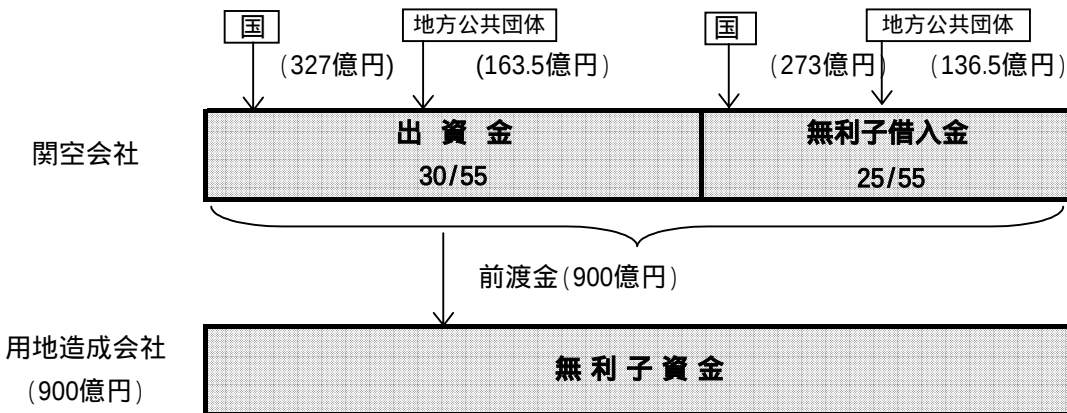


2期事業に係る資金フロー

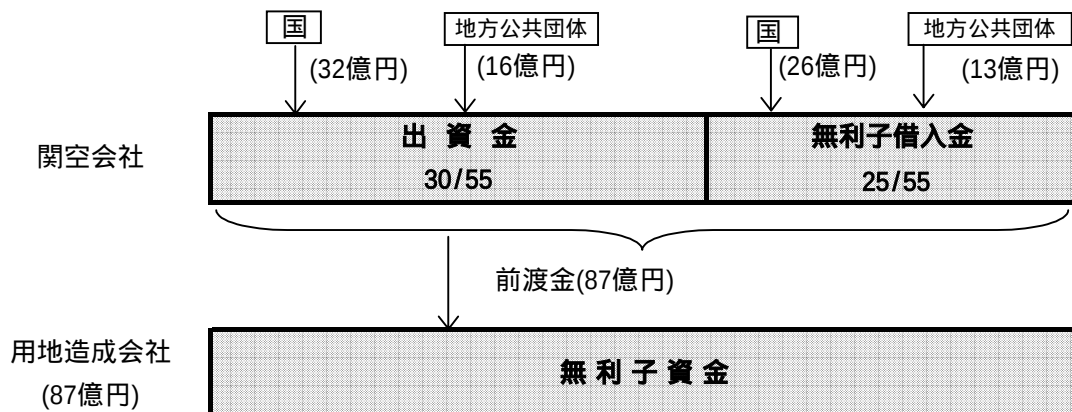
【施設整備】



【用地造成】



無利子資金精算に係る資金フロー



その他の関西国際空港に関連する概算要求について

「空港アクセス等航空サービス高度化推進事業」の一環として、航空旅客・空港訪問者等の増大効果を検証するため、関空連絡橋通行料の引下げを内容とする社会実験に必要な経費が、国土交通省の概算要求に盛り込まれました。

なお、社会実験の詳細については、今後、予算折衝等を通じ具体化を図ることとされています。

< 社会実験概要 >

連絡橋通行料金を大幅に引下げ
(現 行 : 普通車 1,730円)

あわせて、ETCを利用した場合の関空連絡橋と阪神道路公団等の有料道路の乗継ぎ割引及び関空駐車場料金割引について実施を検討

空港アクセスの改善

関空連絡橋通行料金に関する社会実験

アクセス料金・時間の面で問題あり



関空連絡橋の通行料金の引下げ実験の実施

↓
航空旅客・関空訪問者等の増大効果の検証

あわせて、ETCを利用した場合の関空連絡橋と阪神高速道路公団等の有料道路の乗継ぎ割引及び関空駐車場料金割引に関する社会実験の実施を検討

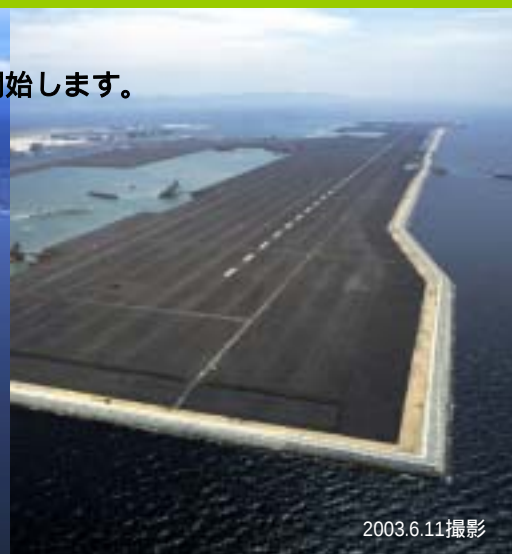
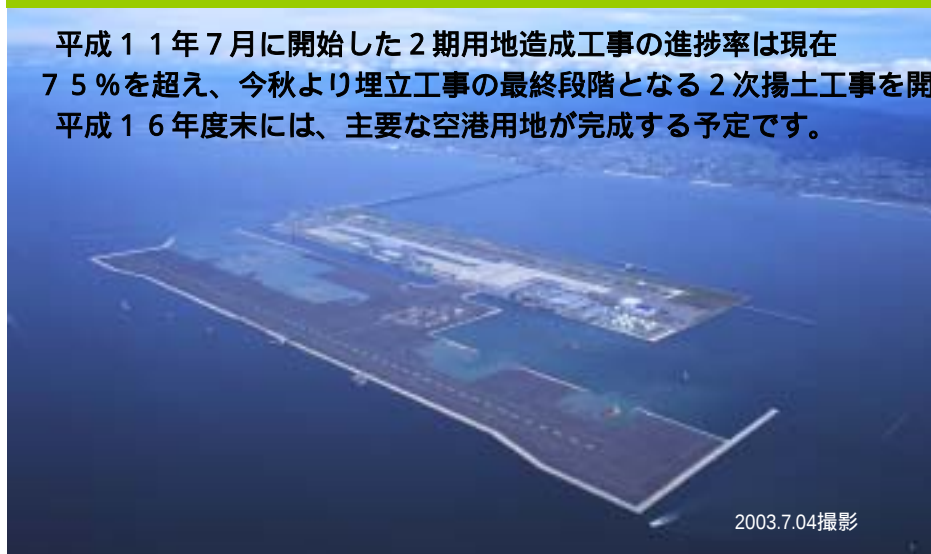


国土交通省概算要求資料より抜粋

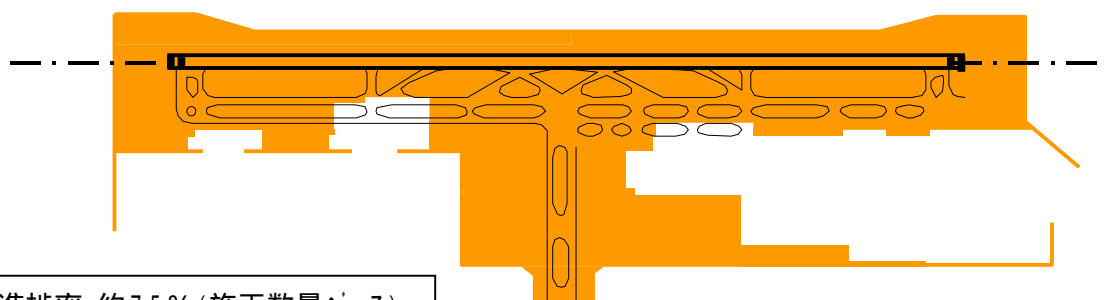
ここまで来た2期用地造成工事！

H15年8月26日

平成11年7月に開始した2期用地造成工事の進捗率は現在75%を超え、今秋より埋立工事の最終段階となる2次揚土工事を開始します。平成16年度末には、主要な空港用地が完成する予定です。



平成15年8月9日現在の埋立進捗

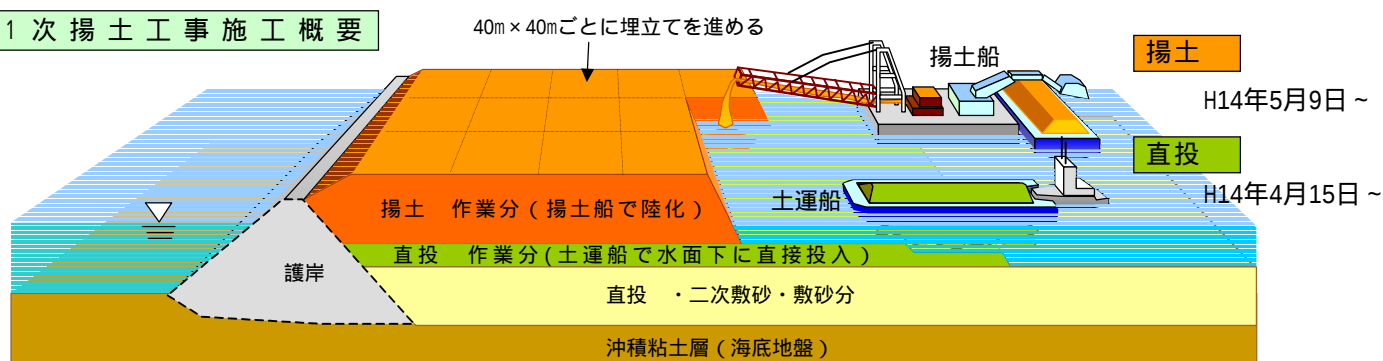


進捗率: 約75% (施工数量ベース)

施工済みの資材 / 完成時の投入資材 (山砂・海砂・石材・コンクリート等全ての建設資材が対象)

陸化部分 面積: 364ha

1次揚土工事施工概要



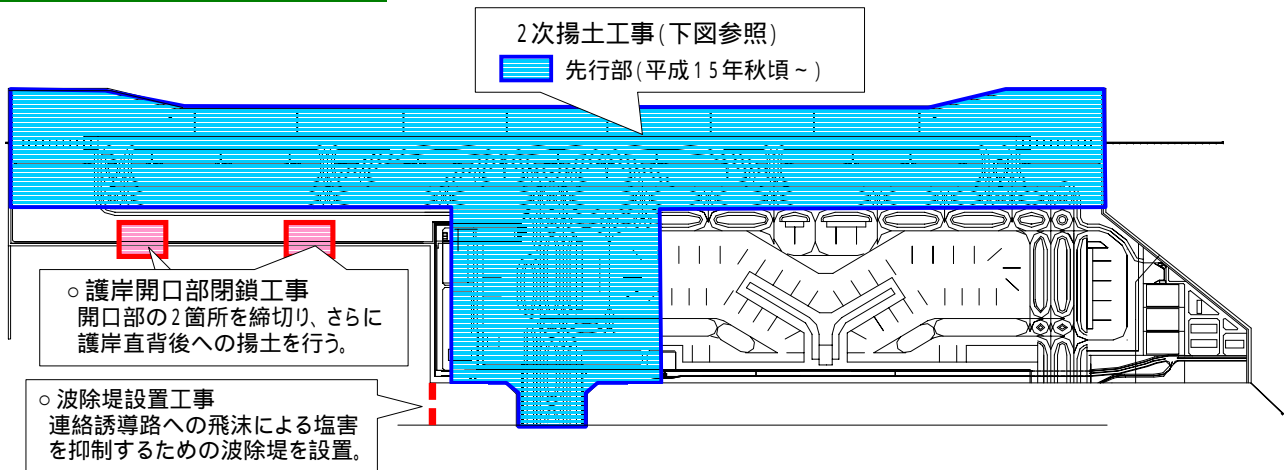
○ 山砂搬入状況

月間搬入量: 約440万m³ (2003年7月期) 累計搬入量: 約18,500万m³ (2003年8月9日現在)

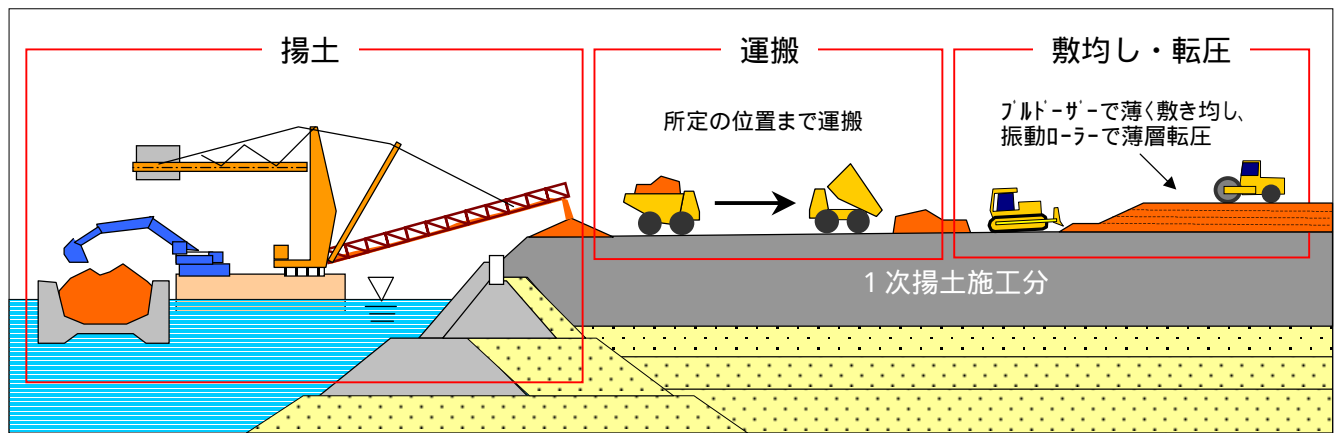
用地造成事業の概略工程

年度	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007 ~
バック	'99.7.14着工		'01.11.19 護岸概成	'02.8.20 護岸完成 (開口部以外)		主要空港施設 用地造成完了			
地盤改良									B滑走路 供用 開始予定
護岸工事									
埋立工事									

今後の主要工事



○ 2次揚土工事の施工概要

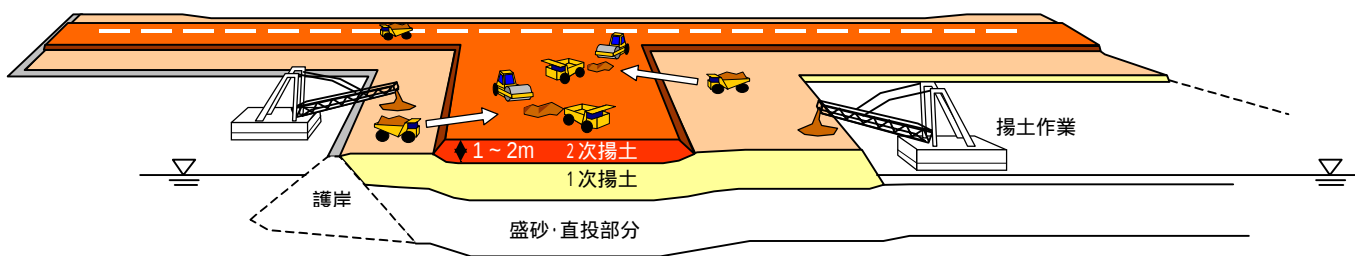


16年度概算要求による埋立工事の進捗見通し

平成15年度末

(鳥瞰図)

想定陸化面積:約440ヘクタール

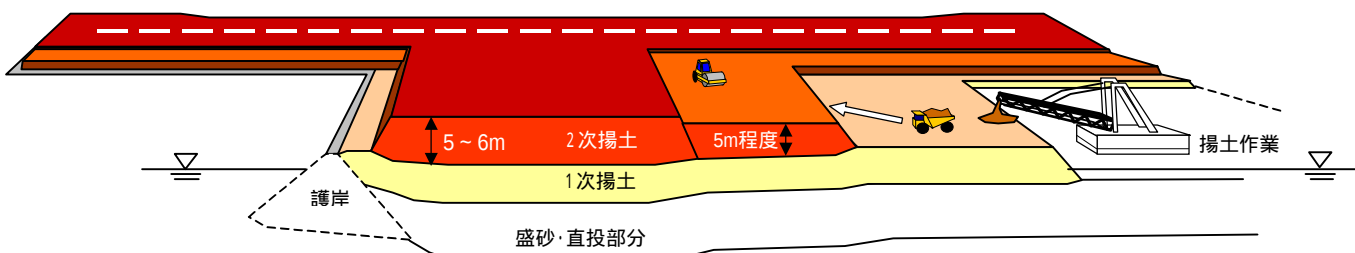


平成16年度末

(滑走路・誘導路等の主要施設用地の完成)

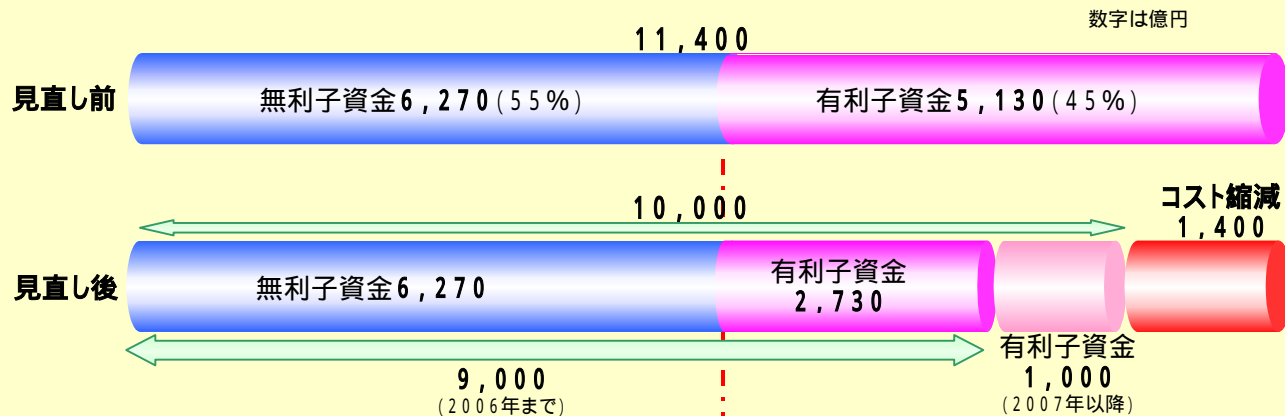
(鳥瞰図)

想定陸化面積:約490ヘクタール



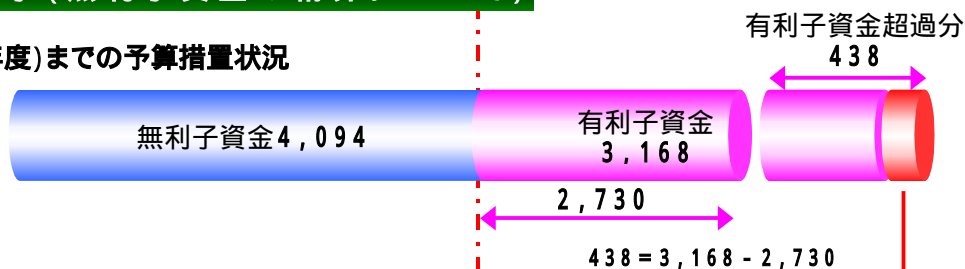
コスト削減と関空2期事業スキームの見直し(用地造成)

- **事業費の削減**
1,400億円程度(約12%)ものコスト削減
1兆1,400億円→約1兆円
- **段階的施工**
2006年までに約9,000億円、2007年以降に約1,000億円実施
- **2006年度までに無利子資金6,270億円全額注入**
国・自治体は2006年度までに出资及び無利子貸付を行う



16年度概算要求(無利子資金の精算について)

15年度(2003年度)までの予算措置状況



16年度(2004年度)概算要求

16年度は用地造成分他、15年度予算措置時点の有利子超過分の是正措置として無利子資金による精算を行うもの

